



## 地域共通診察券

1枚のカードで複数の病院や診療所を受診できる。「地域共通診察券」が、利用者により好評だ。受診内容や投薬の情報が京都市のNP

○法人が管理する公的データセンターに保管され、患者がカードやパソコンで自分の情報を引き出す「情報銀行」のような使い方もできる。開始から1年半を迎

え、京都市や山城地域で使える医療機関が少しずつ増えている。

「診察券をたくさん持つのは面倒。枚数を減らすことができて、助かっていま

も同じ診察券で時々受診する。「歯医者や皮膚科もか

かるので、使える病院がどんどん増えてほしい」と期待する。

「診察券をたくさん持つのは面倒。枚数を減らすことができて、助かっていま

「診察券をたくさん持つのは面倒。枚数を減らすことができて、助かっていま

## 安心得好評 京などで広がり

フルなカード。30カ所まで医療機関を登録でき、受付機を通すと、受診する医療機関の患者番号が呼び出される。

診察歴や投薬歴が自宅のパソコンで見られるのも、この診察券の利点だ。SC

CJが運営する情報管理サービス「ポケットカルテ」に



複数の医療機関を受診できる地域共通診察券。端末にかざすと、患者のデータが表示される(宇治市・完岡医院)

連動し、受診の情報を引き出せる。岡村さんは最近、ポケットカルテにも登録した。「健診の結果や薬の名前も手軽に調べられるので、将来的にも安心」と話す。

現在、診察券が利用できるのは、京都市と宇治市、

城陽市、久御山町の総合病院や診療所44カ所と、全国547カ所の調剤薬局。今後、八幡市や京丹后市、関東地方などでも導入される予定で、参加機関は少しずつ増えている。

同NPO顧問の北岡有喜・京都医療センター医療情報部長は「便利だけでなく、大規模災害があっても情報がなくならず、サーバーネットとしても活用できる。自分の情報を安全に管理できるので、ぜひ利用して」と呼びかけている。

(小坂綾子)